

優良賞

幸せって…

真鶴町立まなづる小学校四年 梶原 とうい

ぼくは車いすバスケットでたーくんとキャプテンに会いました。その時、ぼくは一つの疑問がありました。なんでたーくんとキャプテンは車いすなのにあんなに幸せそうなんだろうということです。そこでぼくは幸せについて考えることにしました。

たーくんとキャプテンは、元気にあいさつをしてくれたり、ずっと笑顔でぼくたちに教えてくれたりしました。事故にあった話を教えてくれましたが、足が動かなくなっても、あきらめずにまた一から車いすバスケットにちょう戦っていてすごいと思いました。

二人はとても元気でポジティブだから笑顔になれるのだと思いました。そして車いすになってしまったことを不幸だと思わずに楽しいことを見つけ、明るく生きていくから幸せそうなのだと分かりました。

このように、幸せはポジティブな気持ちから生まれると思います。車いすの生活は幸せではないと思っていましたが、キャプテンとたーくんに出会ってイメージが変わりました。

ぼくは前に車いすのおばあちゃんが物を落としていて拾ってあげたことがあります。おばあちゃんは、

「ありがとう。」

と言ってくれて、うれしい気分になりました。相手のことを思って行動すると、自分も相手もうれしい気持ちになり、幸せになれるのだと思いました。

ぼくは、みんながポジティブな気持ちをもち、幸せな気持ちになれるよう、相手

のためにできることを探していきたいです。そして、自分もポジティブな気持ちを大切にし、幸せを広げていきたいです。